



信望愛 それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大なるものは愛である。 コリントの信徒への手紙 I13:13

基本理念

神と人とに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする  
①アメニティ(快適主義) ②ヒューマニティ(人間主義) ③ローカリティ(地域主義)



いずみの園40周年 新たな時代の幕開け

## 「共生社会」の 実現に向けて



「こども参観日」にて、特養ご利用者との交流の様子

### 「共生社会」をつくるために

私は、社会人になり福祉分野の仕事に就いた際、先輩から「福祉」の意味を「地上に幸福を止(とど)めるといふこと」と教えられ、その後、仕事として社会福祉にかかわりを持つてきた。

国は近年、地域共生社会の理念を打ち出し、地域における高齢者・障がいのある方・子どもなど一人ひとりの暮らしと生きがいを創り、高め合う社会の実現と地域における包括的支援施策の推進を指向しています。「共生社会」とは「地域住民のお互いがある存在を認め合い、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるよう共に支え合う社会」で、高齢者には長寿への尊敬と居場所づくりを、次世代を担う子どもには愛情と希望を、障がいのある人(＊)には「障がいがなく、普通に暮らしている人と同じ日常を当たり前に享受できる社会を実現することと理解しています。

(＊) 本年5月、国会は「障害」という言葉が持つ否定的なイメージを考慮し、違う表記を検討するよう政府に求める決議を全会一致で採択した。

福祉サービスは、戦後、量と質の向上↓選べるサービスメニューの多さ↓個々人の福祉ニーズにきめ細かく対応する時代に移ってきました。今後は社会福祉法人には地方公共団体と連携し、地域文化・住民ニーズに合致した福祉事業の取組を先進的に進めていくことが求められています。当法人は高齢者、障がいのある児・者、子ども・子育て、低所得者等にサービス提供を行っていますが、2015年4月に共生型事業の実施場所として「福祉の里センターサマリア館」を新築したので、これからはソフト面の充実を始めこの建物を軸として「共生社会」の具体化に向け工夫してまいります。

福祉を真に必要なとする人への支援を社会全体で支えることが社会保障の本旨―私はそう考えている―であり、社会の構成員の一人である私は障がいを持つひとの「生きる」とへのひたむきさ”にいつも教えられる日々である。



社会福祉法人九州キリスト教  
社会福祉事業団 理事  
中津総合ケアセンター  
いずみの園 総合施設長補佐

有馬 健



# 当法人元理事長 齊藤昭夫先生を悼んで



6月30日午前11時44分、肺炎により召天された齊藤昭夫先生の告別式が、いずみ館において、7月3日(火)13時より日本基督教団中津教会 廣安慎太郎牧師の司式により執り行われました。齊藤先生は当法人の理事を1976年から2017年3月末までの約40年間、理事長として1988年から約20年間務められました。

告別式当日は台風の接近による天候不良が心配されましたが、本当に多くの方にご参列頂きました。告別式では先生が愛唱された讚美歌522番「キリストにはかえられせん」を天国の先生に届くよう皆で歌いました。15時に多くの参列者・いずみの園職員に見送られ、思い出深いいずみの園をお発ちになりました。先生のこれまでの多くのご貢献に感謝申し上げます。

(九州キリスト教社会福祉事業団)



告別式の様子



讚美歌合唱

# 2018年度 理事会・評議員会報告



理事会の様子

2018年度第1回理事会が6月5日(火)に本館ミーティング・ルームで行われました。理事長の挨拶及び2017年度法人事業報告について説明のあと、2017年度事業報告・決算報告案及び監事監査結果について事務局より説明を行い、全会一致で承認されました。続いて、規程の改正案や障がいグループホーム建築工程が諮られ、全会一致で議決されました。

報告事項として、①九州老人福祉施設職員研究大会での研究発表について ②短期集中予防サービスの実施について ③「基幹相談支援センターの開設1年を迎えて」について ④ひとり暮らし高齢者事業の委託事業終了について ⑤クリニックいずみの再開についてなど、法人活動について報告と意見交換が行われ、閉会しました。

その後今年度の定時評議員会が6月23日(土)に「いずみ館」で行われました。議長選出の後、審議事項として第1号2017年度の事業報告に関する件、第2号2017年度決算及び監査報告の承認、第3号障がいグループホーム補助金交付、工事工程に関する件、以上の3点について審議が行われ、全会一致をもって可決されました。最後に事務局より法人の事業活動についての報告が行われ、評議員会は終了しました。

(法人本部事務局)



評議員会の様子

## 「九州老人福祉施設職員研究会」の発表で、「いずみの園」の職員が優秀賞を受賞しました。

2018年7月19日(木)と20日(金)に、大分市にて「平成30年度九州老人福祉施設職員研究会」が開催されました。

その会の2日目に行われた各研究部会で、特別養護老人ホーム介護課河野十萌主任が、「社会福祉法人・施設の更なる取り組み」というテーマの第3研究部会にて「現場に潜む危険に気付く力を高めたい！〜DVD作成から得られた意外な効果〜」と題し発表を行いました。

その結果、河野主任は見事優秀賞を受賞することができました。優秀賞を受賞した河野主任から「いずみの園の特養での取り組みが多くの方に評価され嬉しく思います。このような貴重な経験をさせていただきありがとうございます」とコメントを頂きました。

河野主任本当にお疲れさまでした。おめでとうございました。

(特別養護老人ホームいずみの園)

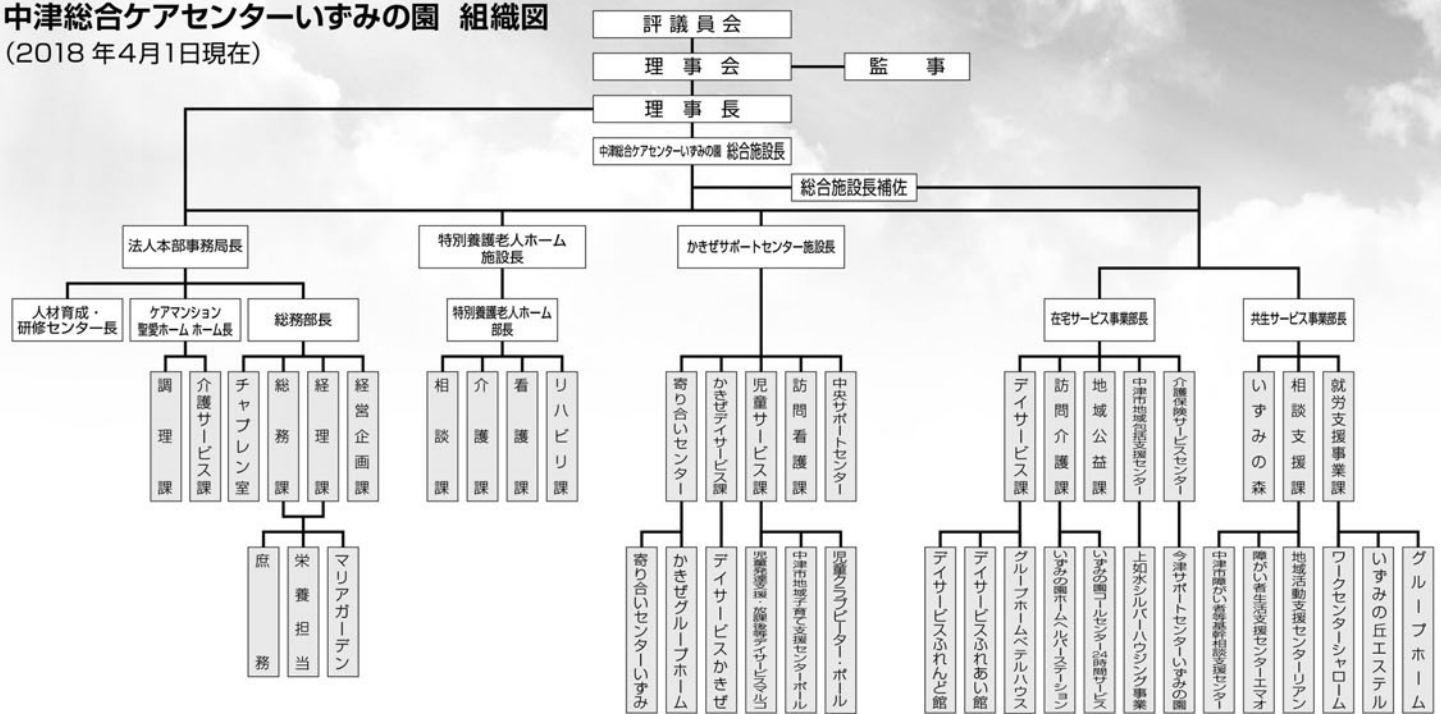


発表中の様子



表彰式の様子

中津総合ケアセンターいずみの園 組織図  
(2018年4月1日現在)



2018年度「中津総合ケアセンターいずみの園」事業計画重点事項 (一部抜粋)

総務部	かきぜサポートセンター	ベテルハウス
<b>総務課</b> ①業務の改善、効率化 ②職員資質向上 <b>経理課</b> ①事務の省力化 ②予算執行のフィードバック <b>栄養担当</b> ①安全でおいしい食事の提供 ②栄養ケア・マネジメントの実施 <b>マリアガーデン</b> ①マリアガーデンからの情報発信 ②いずみの園ご利用者との交流 <b>経営企画課</b> ①人材確保・定着の強化 ②職員の育成・資質の向上 ③創立40周年記念行事の準備及び新規企画の立案 <b>チャレン室</b> ①創立の精神を学び業務に生かす ②心と体と魂が豊かになるように	<b>寄り合いセンター</b> <b>いずみ・小規模多機能介護</b> ①専門性のある人材の育成 ②地域との交流機会の確保 <b>かきぜグループホーム</b> ①研修会や事例検討会を通じて、求められる技術や知識の習得 ②地域行事への参加や地域住民との交流 <b>デイサービス課</b> ①顧客の獲得、選ばれる事業所として ②福祉のまちづくりを目指して <b>児童サービス課</b> <b>児童発達支援・放課後等デイ</b> ①保護者との連携、保護者同士がつながる機会の提供 ②児童クラブや地域の方との交流行事開催 <b>子育て支援センター・ボール</b> ①地域に outgoing 子育てサポートを行う。 ②研修を通じて支援者としての専門性の向上に努める。 <b>児童クラブ・ビター・ボール</b> ①共生型空間を活かした健全育成を目指す。 ②保護者との信頼関係の構築、連携を図る。 <b>訪問看護課</b> ①医療依存度の高い方の迅速な受け入れと様々なニーズへの対応 ②サービスの質の向上(人材の育成)	<b>訪問介護課</b> ①人材の育成 ②ICT化により作業の効率を高める <b>地域公益課</b> ①生活困窮者相談支援、事例検討 ②生活困難者への対応「すてっぷあっぷさぼーと事業」プラン項目の検討協議 <b>地域包括支援センター</b> ①認知症多職種共同研修の参加人数/180人 ②医療介護連携事例検討会議/年6回 <b>介護保険サービスセンター</b> ①医療介護、多職種連携研修への参加 ②ケアマネジメント勉強会参加 <b>今津サポートセンター</b> ①医療介護、多職種連携研修への参加 ②今津校区の行事や会議への参加
<b>人材育成・研修センター</b> ①実務研修受講者確保 ②福祉講座参加者確保 <b>ケアマンション 聖愛ホーム</b> ①入居者の安心・安全を支える支援体制の強化と人材育成 ②地域交流の促進(関係団体の連携強化)	<b>特別養護老人ホーム</b> <b>相談課</b> ①職種間の連携強化 ②社会的長期入院の高齢患者への支援研究の継続 <b>介護課</b> ①働き続けたい職場環境づくり ②ご家族を交えた行事の展開 <b>看護課</b> ①看取りケア体制の充実 ②重度化への対応 <b>リハビリ課</b> ①ICT活用による介護負担軽減 ②地域、在宅への専門職派遣	<b>共生サービス事業部</b> <b>いずみの森</b> ①心身機能の維持向上の機会 ②将来の不安軽減の機会提供 <b>中津市障がい者福祉相談センター</b> ①共生社会の実現 ②障がい者芸術文化の普及啓発 <b>障がい者生活支援センター・エマオ</b> ①新規利用者の確保 ②相談支援の質の向上・人材育成 <b>中津市地域活動支援センター・リアン</b> ①余暇行事の企画・運営 ②多世代間交流の場の提供 <b>就労支援事業課</b> ①就労継続支援A型・B型作業の作業開拓と共同受注窓口の効果的活用 ②B型・生活介護利用者の出勤率向上(利用者増) ③新事業いずみの丘グループホームの新設準備
	<b>中央サポートセンター</b> ①在宅生活維持へのサポート ②介護度の改善 <b>在宅サービス事業部</b> <b>ふれんど館</b> ①職員の言葉遣いの改善 ②業務改善及びサービスの質の向上 <b>ふれあい館</b> ①学習療法をベースとした活動のアピール ②認知症予防(対応)型通所介護事業所としての確立	

人事関係

2018年6月1日以降

① 新規採用職員

6月1日付	豊田 真央	特別養護老人ホーム	介護課	介護員
6月7日付	山下 妙子	クリニックいずみ	事務員	
6月11日付	廣瀬美佐紀	特別養護老人ホーム	看護課	看護師
6月17日付	田本 幸代	特別養護老人ホーム	介護課	スポット職員
7月1日付	畑辺 洋一	総務部	庶務	
7月26日付	首藤優美子	在宅サービス事業部	デイサービス課	ふれあい館 介護員
8月1日付	岩男 京子	かきぜサポートセンター	訪問看護課	看護師

② 異動職員

6月1日付	水嶋 宏恵	在宅サービス事業部	デイサービス課	ふれあい館	看護師
6月8日付	三宅 竜文	かきぜサポートセンター	中央サポートセンター	看護課	介護員兼務
8月1日付	大瀧 信嗣	在宅サービス事業部	グループホームベテルハウス		介護員

(以上2018年8月1日まで)

# 共生社会の実現に向けて— 福祉の里センター 「サマリア館」の完成 2015～



着工前のサマリア館の風景

# 40周年を迎える いずみの園の歩み

第4回

## 地域に感謝！



工事の様子①



工事の様子②(基礎)



工事の様子③(骨格)



工事の様子④(内装)



建物完成



現在のサマリア館の様子

1974(昭和49)年以降、中津市蜷瀬において「グレース保育園」(現在は市内大塚に移転)を開園していましたが、その「グレース保育園」の移転後の跡地を使用して建設されたのが「サマリア館」です。サマリア館では「多世代間の交流」「共生社会の実現」を標榜し、種々の事業を行っています。  
シリーズ4回目の今号では、そのサマリア館の建設から現在までを写真で振り返ります。



# 福祉のまちづくりへの取組

## —生活しやすい中津づくり—

### 第4回：ライフスタイルに合った住まいの提供

人口減少社会の到来が云われているが、ある本に2000年の国勢調査人口統計を用い、2030年の各都市のいくつかの将来像に都市の型として、①とにかく住めれば ②住めば都 ③働きに行こう ④学校において ⑤無変化 ⑥故郷に錦 ⑦望郷型 ⑧出ていきますの8類型が示されている。その中で中津市が取り上げられ54歳までの流出が起きており「⑥故郷に錦型」とのこと。

住民の一人として街を歩くと各界（経済、医学、文学など）での多くの偉人の顕彰標は見ると、近年、企業流入も多く、②型と思うのだが・・・

出典：「人口減少社会の設計」松谷明彦他 中公新書

「いずみの園」は2013(平成25)年、保育・子育て支援事業、介護保険、障がいサービス事業を包括的に提供する「中津総合ケアセンターいずみの園」と名称を改めました。昨年度の事業計画の中にも『地域との連携—福祉のまちづくり』を重点目標に掲げ、“豊かさ”、“楽しさ”、“生活のしやすさ”のまちづくりに貢献する『中津総合ケアセンターいずみの園』の取組を6回にわたり連載します。



春の桜と聖愛ホーム

聖愛ホームでは、1階の玄関ホールを利用して、月替わりで「ホール作品展」を開催しています。入居者の方による書道作品や写真の展示もあります。多くは地域で芸術活動をなさっている方々の作品を展示させて頂いています。

過去にも切り絵や絵画、写真や書道、絵手紙や粘土細工など、多くの方に様々な作品を出展して頂きました。今年の8月からは鶴居の書道教室に通う小・中学生による作品を展示しています。出展した生徒さんやそのご両親、ご兄弟と一緒に作品を鑑賞に来館された



ケアマンシヨン  
聖愛ホーム  
課長 橋田 要介

地域の皆様とふれ合える場所づくり  
「ケアマンシヨン聖愛ホーム」



ホール作品展の様子

り、出展を聞いたお知り合いの方が作品を見に来館されたりしています。入居者の皆様も毎月の作品展を楽しまれており、そこで作品展を訪ねて来られた方との交流も生まれています。

老人ホームというと、気軽に訪ねて行きにくいという印象を持たれている方も多いのではないのでしょうか。この作品展を通して、地域の皆様に身近な社会資源を知って頂くと共に、聖愛ホームからの情報発信の機会となればと思っております。作品展はどなたでも観賞できますので、ぜひ一度お立ち寄り下さい。



いずみの森 新緑の風景

いずみの森は、戸建ての有料老人ホームであり、それぞれが独立したコミュニティです。集団で何かをするということより、個人の方々がそれぞれの意思を尊重した活動をされ、そこから地域との繋がりを持つ施設です。

あるご入居者は、ここからいずみの園へボランティアに出かける活動をされています。また、別のご入居者は、地域でのアートフラワーづくりをされ、作品を多くの方々に贈呈されたり、地域のカラオケの組織に参加されるなど、色々な場所に出かけていき、繋がりを



シニアレジデンス  
いずみの森  
森長 森 光徳

いずみの森の入居者の生きがい  
個の輝きを地域へ



フラワーアレンジメントをされている様子

持たれています。その他の方も茶道やお謡い、俳句、川柳と様々な活動をされています。いずみの森のご入居者はとても才能にあふれた素晴らしい個人です。それぞれの個が輝きを放つことで地域も輝き、施設が輝くのではないかと思います。

戸建ての有料老人ホームという機能を活かし、それぞれの生活スタイルによって、つかず離れずの距離感を大切にしながら生活して頂いています。これからもご入居者の方々が、生活の中のゆとりである多彩な趣味を継続され、安心して暮らしていけるよう支援を行ってまいります。施設の見学も受け付けておりますので、お気軽にお越しください。

# 「共生事業検討会」を開始しました。



かきせサポートセンター  
施設長 谷口 弘美

共生型事業として「福祉の里センターサマリア館」を開所し3年が経過、地域共生社会の実現を標榜し、現在まで様々な取り組みを行ってきました。そして「中津総合ケアセンター iversityの園」



先進取組の見学(佐伯市・とんとんとん)

は今年で創立40周年を迎え、「その記念となるような事業を行いたい」「地域共生社会を実現するには」等について検討するプロジェクトチームを新たに立ち上げ、その第1回検討会を6月15日(金)に開催しました。



会議中の様子

第1回は特に決まったテーマを設けずフリートークを中心とし、メンバー間で活発な意見交換が行われました。現在は第3回まで行われ、先進事業の見学なども実施し、創立40周年の節目に有意義な事業が行えるよう、引き続き検討してまいります。

## 韓国 スンシルサイバー大学の皆さんが、iversityの園に来園されました。

8月2日(木)から5日(日)にかけて、韓国ソウルにある「スンシルサイバー大学」の教授と学生の皆さんが、iversityの園に来園されました。

初日はiversityの園に到着後「iversityの園」にて顔合わせを行った後、施設見学を行いました。翌日はまず午前中に特養とデイサービスにて実習を行いました。学生の皆さんは言葉の壁に苦しんでいる様子でしたが、それでも積極的にご利用者と関わり、多くのことを学ばれていました。昼食の後は再び「iversityの園」に集まり、iversityの園紹介DVDの視聴、当法人理事長の講話、また韓国の大学教授や学生が勤務している施設の取り組みについて発表をしていただきました。4日は中津近郊の観光を行い、5日に帰国の途につかれました。

iversityの園では近年、韓国との交流を積極的に行っています。現在韓国の2つの大学及び1つの施設と協定関係を結び、人材の積極的な交流を行っています。今後も相互の交流を図れるよう取り組んでいきます。(経営企画課)



参加者(一部)の集合写真



韓国の大学教授による講義風景



見学中の様子

## いづみ会親睦旅行報告

iversityの園では決まった定休日が無い事業所や交代勤務の都合上、皆で職員旅行に行くことができません。そこで「いづみ会」という自治組織で毎月会費を集め、自分たちでそれぞれ旅行を計画したものに対して「いづみ会」から補助を出す仕組みをとっています。ここでは今年度すでに旅行に行かれた方からの感想などを、皆様にご報告したいと思います。

### 2 韓国旅行 (釜山)



7月5日から2泊3日で、対馬海峡に面している港湾都市、韓国の釜山に行ってきました。北九州空港から金海国際空港まで1時間で到着。近くて、安くて、異国情緒をたっぷり堪能できます。移動手段は主に地下鉄や徒歩で、南浦洞、西面などを散策しました。釜山タワーも目の前です。

日本では味わえない美味しいものをたくさん食べて、一緒に行ったメンバー全員一回り大きくなって帰国しました。リフレッシュしたい方、おすすめですよ!「釜山」

訪問介護課主任 和間 亜紀

### 1 天草旅行



私たちは7月8日から2泊3日で熊本県の天草に旅行に行きました。参加者はかきせサポートセンターの男性職員計4名で、天草観光や釣りを行いました。夜はバーベキューをしました。場所探してから食材選びまで全て自分たちで行い、いい経験になったと共に、日頃話せないようなことまで話すことができ、交流を深めることができました。肝心の釣りは天候の影響であまりできなかったのが少し残念でしたが、日頃の疲れをリフレッシュすることができ、行って良かったと思っています。

デイサービスかきせ主任 橋本 晃一

# 介護男子

vol.3

ここでは、いずみの園で働く男性職員を紹介します。彼らの働きぶりを通して、いずみの園の内側を少しでも知っていただければ幸いです。



介護男子

ナンバー 06

## 島元 春樹さん

共生サービス事業部  
ワークセンターシャローム 主任  
年齢：34歳  
好きな食べ物：いちごのショートケーキ



### ひとこと

ご利用者一人ひとりの個性や思いを尊重し、それぞれにあった働き方を考え、日々試行錯誤しながら頑張っています！



## 松本 翔多さん

共生サービス事業部  
相談支援課 相談員  
年齢：28歳  
好きな食べ物：ハンバーグ



### ひとこと

まだ福祉の仕事を始めて日が浅い私ですが、毎日様々な経験をすることができ、やりがいを持って働いています！



## 岡部 浩一郎さん

共生サービス事業部  
ワークセンターシャローム 職業指導員  
年齢：26歳  
好きな食べ物：ステーキ



介護男子

ナンバー 08

### ひとこと

シャロームでの業務は色々と感じることも多く大変ですが、ご利用者の方々が働きやすい環境を作っている様に努めたいと思います！



## 編集後記

今年の夏は例年以上に大変暑いものとなりましたが、皆様体調など崩されておりませんでしょ。そんな真夏の真っ只中8月9日に、「いずみの園」でも「参観日」が開催されました。施設見学から始まり、車椅子体験やおやつ作り、ご利用者との交流などを行いました。当日関わったご利用者の年齢を聞いてビックリする様子や、楽しそうに車椅子体験をする様子など、一つひとつのイベントに目をキラキラさせながら楽しんでる姿を見て、企画した私たちも本当にうれしい気持ちになりました。真夏の日差しに負けないくらい元気いっぱいいな子どもたちのパワーに圧倒されっぱなしでしたが、自分も子どもたちに負けないようパワフルに日々の業務に頑張っていきたいと思えます。  
(義)

## いずみの園のルーツを探る

— 第3回 —

シャローム

「彼らは、我が民の破滅を手軽に治療して平和がないのに『平和、平和』と言う。」  
旧約聖書 エレミヤ書6章

いずみの園にはシャロームという名の障がい支援事業のワークセンターがあります。シャロームとは旧約聖書のヘブル語で「平和・平安」等を意味しています。かの地では道で会ったら「シャローム」という挨拶をします（やあこんにちは！です）。

いつの時代も平和は国際間の力関係によって成り立つ現実がありますが、うわべだけの平和に乗っかることを預言者のエレミヤは批判しました。自分の身に災いが降りかかっても「辛口な言葉」を口にする人が本物の平和主義者であると語りました。



チャブレン 堤 健生



# いずみの園新規事業「障がい者グループホーム」の 工事進捗状況について



共生サービス事業部  
部長 豊田 毅士

「中津総合ケアセンターいずみの園」では2016年8月に「いずみの丘エステル」という事業所を立ち上げました。エステルは「生活介護」という、障がいのある方の日中の活動や社会参加、日常生活上の支援を行う事業所で、中津市永添にある民家を改装し、定員6名で事業を行っています。

今回その同一敷地内に、障がい者のためのグループホームを新規に立ち上げるためここまで準備を進めて参りましたが、去る2018年7月11日に起工式が行われ、2019年4月開所を目指し現在工事が進められています。工事の進捗等については当施設のホームページやこちらの紙面でも随時お知らせしていきます。



工事開始前の様子



工事中(基礎)



起工式の様子



## 「第9回」子ども参観日」を開催しました。

8月9日(木)の午前中、今年で第9回を数える「いずみの園」子ども参観日を開催しました。この「子ども参観日」は、将来を担う子ども達に「いずみの園」を知ってもらうこと、福祉の仕事を理解してもらうことなどを目的として毎年開催しています。今年は、4歳から



万華鏡づくりの様子



参加者の集合写真

中学3年生まで、合わせて19名が参加しました。朝のミーティングにて挨拶をすることから始まり、「1日体験職員」の辞令を交付、次に「いずみの園」の見学をしました。その次に、食事の栄養バランスについて学んだり、車椅子の操作を学ぶなど充実した時を過ごしました。子ども達からは、楽しかった、もっと車椅子に乗りたいたいなどの感想が聞かれました。

最後にみんなで集合写真を撮影し、その後お父さん、お母さんたちと一緒に「お昼ご飯」を食べ、「子ども参観日」が終了しました。参加してくれたお友達みんな、協力してくれた職員みなさん、ありがとうございました。(総務部)

## 合同慰霊盆踊り

8月16日(木)に、毎年恒例の上ノ原地区との合同慰霊盆踊りが行われました。

当日はあいにくの空模様で、直前まで協議を重ねた結果屋内での開催と決定し、「いずみ館」での開催となりました。

夕方になるにつれて、ハッピー姿のご利用者、浴衣姿の職員や地域の方々が少しずつ「いずみ館」に集まり、真ん中の太鼓を中心に盆踊りの輪ができました。おなじみの曲を太鼓の音に合わせて踊られた後には、毎年恒例の抽選会が行われ、とても賑やかな一夜となりました。



盆踊りの様子



抽選会の様子

今年も上ノ原地区の方々との協力のもと合同慰霊盆踊りを開催する事ができました。感謝致します。また来年も、皆さんと一緒にこの様な行事を楽しみたいと思います。(特別養護老人ホームいずみの園)

予告

## 第20回 いずみの園フェスタ開催

日時 10月13日(土) 午前10時～午後2時

会場 いずみの園 中津市永添2744

ステージ

- 大正琴 琴好会
- 和風マジック大江戸ジュリ
- フラダンス ハルフラYU教室
- よさこい踊り 大分舞華軍団おかみさんクラブ
- 琉球國祭り太鼓(大分支部)
- 屋台コーナー
- バザーコーナー
- わんぱくコーナー
- 健康・介護保険コーナー
- もちつきコーナー
- 顔写真入りカレンダー作成
- 小笠原古流茶会(茶席体験)

※イベント・ステージは変更になる場合があります。



協賛/中津ライオンズクラブ